はじめに

私の「口腔機能」との出合いは、本編にもある長谷ますみ氏（NDL 株式会社 代表取締役社長）に見せていただいた、開口癖のある人のハードプラークが付いた写真です。

「歯科衛生士が、口呼吸や口が開いてることに関して指導するのか！」

その衝撃の1枚を見てから17年。当時は何の知識もなく、いまほど「お口ポカ〜ンはダメ」などと歯科医院で指導することはありませんでした。そんな時代でしたから、それこそ本を買い漁り、口腔機能に関して教えてくださる先生のところに出かけて行ったり、メールで質問したりして教えを乞うことを繰り返していました。

口腔機能について得た知識を臨床で生かそうと、院内で頑張ってはみたものの、子どもや養育者にはピンとこないようで、トレーニングが継続できず、中途半端に終わることもありました。いまだに、「口を閉じて、鼻で息をしなさい！」と、毎日診療室で叫んでいます。ですが、きちんと口腔機能を獲得できた子には、子どもと養育者と私、そしてスタッフとも喜び合い、少々嫌がられても、子どもちゃんに頬ずりしています（笑）。こんな風景が歯科医院のスタンダードになればよいなぁ〜と思いながら、NDL mint-seminar の小児関連講師を務めている私は、北は北海道、南は沖縄まで、全国を行脚しています。他方、近所の子育て支援センターや保育園・幼稚園など、一般の方向けにも講演する機会をいただいています。

乳児から学童期の子どもまで、口腔機能の発育不全を予防をできるのは、私たち歯科医療従事者をおいて他にいません。「口腔機能のことも自院で取り入れたいけど、どうしたらよいのかわからない……」という歯科医療従事者はたくさんいます。まずは本書で、私と一緒に勉強しましょう。

歯科医師や歯科衛生士のみなさんは、鏡を手に取り、顔を見てください。口腔機能のよい顔をしていますか？　まずは自分のお顔から、よくばりレッスンを始めましょ♪

2017年12月

大阪府・医療法人中村歯科 キッズデンタルパーク／NDL㈱　歯科衛生士

宮坂乙美